

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第7期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2）		
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時	令和4年12月22日（水） 10時00分～11時40分		
開催場所	市民会館2階 講習室		
出席者	委員	8人（別紙のとおり）	
	その他	0人	
	事務局	2人（区政策課職員）	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">1 議題</p> <p style="text-align: center;">第7期中央区区民会議重点行動の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討取組①「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」 ・検討取組②「公共交通網の構築」 <p style="text-align: center;">2 その他</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p>		

<p>会議結果概要</p>	<p>グループ2の重点行動は、「小田急多摩線の延伸」及び「買い物支援」とし、次回までに区民会議としてどのようなことができるのかを皆様に考えていただき、具体的な取組内容や取組主体を次回に話し合う予定。</p>
<p>主な内容は次のとおり。</p> <p>開 会 事務局から、運営に係る事務説明を行った。 —傍聴希望者 なし—</p> <p>1 議題 事務局より、グループワーク参考資料を配布・説明しグループワークを行った。 第7期区民会議のグループ2において進めたい重点行動を各委員から順番に発表を行った。内容は以下のとおり。</p> <p>(田所委員) ○相模原にコミュニティ空港を設けることを考えた。補給廠の返還地を活かして電車やバスを利用せずに羽田空港や成田空港に行けるように整備することでまちに賑わいが生まれるのではないかと思う。</p> <p>(中村委員) 地元の商店街を盛り上げることが地域の商店が生き残るために必要だと思うので、自治会が発行している割引カードを活用して、利用者に割引をするサービスなどを広げていきたい。</p> <p>(横山委員) ○具体的な課題は思いつかなかったが、様々な世代の方が情報交換できる場が少ないと感じたので、そういう場所を作ることが区の課題解決にも繋がるのではないかと考えた。 買い物代行についても、介護保険の範囲内でできることが限られていたり、事業者が出張販売する際にも制約が多かったりするので、大規模事業者だけでなく、個人商店なども相談して解決することが必要だと思う。</p> <p>(飯塚委員) ○民生児童委員協議会にも高齢者の方から、運転免許証を返納して買い物へ行く手段なくなったとのことで、タクシーの割引券を支給してもらえると助かるとの声があった。 買い物支援については、有償ボランティアを活用した代行サービスを作って、高齢者の健康状態や見守りを兼ねて行うことも良いと考える。 移手段について、他市では、タクシーやバスにも使用できる割引券を行政が支給している事例もある。また、オンデマンドバスのような予約型のバスで、決まったルールや時刻表はなく、アプリや電話で予約して、専用の乗り降りの場所を使えるサービスも行政と民間事業者が協力して提供している自治体もある。</p> <p>(安藤委員) ○近隣の方々の様子を見ると少子高齢化の弊害を受けている方が多いように感じる。特に一人暮らしの高齢者が影響を受けていると思われるので、移手段の支援や買い物支援を要望していきたい。 また、小田急多摩線の延伸についても、小田急電鉄の経営戦略には盛り込まれていないが、相模原駅北口区のまちづくり会議でも人集めの方法として延伸を希望する声は多い。補給廠周辺の南北道路、横浜線なども一体となって賑わいを作っていく必要があると考えるので、区民会議で</p>	

扱うテーマとしては大きいかもしれないが、要望していきたい。

(小林委員)

○移動手段の支援を要望していきたい。

タクシー料金が高くなり、高齢者が普段から利用するには難しい状況となっている。事業者や社会福祉協議会と協力して、高齢者が移動するインフラの整備を要望していきたい。

(末永委員)

○移動手段の支援では、高齢者が市内のバスが無料になるようなパスを支給できるように要望していきたい。横浜市は高齢者に市営バスを無料化しているため、交通手段を増やすためにも働きかけたい。

また、相模原駅北口の返還地も賑わいを作るためにも大型スーパーのような施設を作って、常に人が集まるような地域にしていきたい。駅から近い立地を生かして、橋本駅や古淵駅のような施設を建設して欲しい。

(安藤委員)

○相模原駅北口の件で、相模原駅北口地区まちづくり推進協議会が発足して、いろいろ検討している。現在、土地利用方針を出して、土地利用計画の検討に入っている。大型スーパーのような商業施設の話が出たときに、相模原駅の南口や西門商店街が非常に閑散としている中で、大型商業施設が建設されたら、商店街が営業できなくなるので、検討は慎重に行う必要があるという意見もあった。

補給廠の返還地は共同使用の部分もあるので、小田急の延伸や商業施設建設についても小田急電鉄も含めて、行政と民間が一緒になって考えていく必要もあると思う。

(鈴木委員)

○相模原駅北口の広場でサーカスのイベントを実施するように要望していたが、市側が許可しなかったという話を聞いたことがある。地域が活性化するためには、必要なことだと考えるので、実施できるように要望していきたいと思う。

(小林委員)

○小田急多摩線延伸について、富山市のローカル線が経営難に陥った際に行政がインフラの整備を行い、立て直した経緯もあるので、民間事業者のみの力だけでなく、行政も協力していくことも必要である。新しい交通網ができれば、高齢者も出かけるようになり、都内からも人が集まって賑わいが作られていくと考える。

(中村委員)

○実現の可否は不明だが、委員の皆さんから多く意見のあった小田急多摩線の延伸を重点行動として挙げたい。今期の区民会議では要望は難しくても、次に引き継ぐという意味合いも込めたい。

(小林委員)

○高齢者の移動手段も含めて小田急多摩線の延伸を要望するのが望ましいと思うが、買い物支援も必要だと感じるので一緒に進めていきたい。

(事務局)

○それでは重点行動では、小田急多摩線の延伸及び買い物支援とし、次回までに区民会議としてどのようなことができるのかを皆様に考えていただきたい。

次回の区民会議は令和5年2月2日(木) 10:00～ 市民会館
グループワーク後、全体会を開催する。

第7期第3回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ2） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	出欠席
1	安 藤 孝 洋	小山地区まちづくり会議	出席
2	飯 塚 芳 雄	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
3	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会	欠席
4	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議	出席
5	横 山 志 穂	公募委員	出席
6	末 永 暁 子	横山地区まちづくり会議	出席
7	田 所 豊	相模原交通安全協会	出席
8	中 村 太 郎	相模原商工会議所	出席
9	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議	出席